

受賞技術	吸い出し・陥没抑止に向けたケーソン目地透過波低減法
技術開発者	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 佐々真志



受賞にあたって

このたびは、国土技術開発賞に選考いただきまして、大変光栄に存じます。

吸い出しによる護岸・岸壁の陥没はかねてから全国各地で発生しており、近年も数多くの被災事例が報告されています。これらの陥没は、防砂板・防砂シートの損傷などの防砂機能の喪失によって埋立土砂の吸い出しが生じ、これに伴う空洞が地中で生成・発達することによって、突然発生します。護岸・岸壁を構成するケーソン間では、透過してくる波の繰り返し作用を主要因とした防砂板損傷によって当該事象に至ります。本技術は、気候変動とともに年々増大傾向にある透過波を繊維製網状の緩衝材をケーソン間の目地部に挿入することで約80%減衰させることができ、外力を低減することで構造物としての長寿命化が図れ、陥没リスクの抑制が可能となりました。

本技術開発を進めるにあたりご協力いただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

受賞後の動き

本技術による吸い出し・陥没リスクの抑制を通じて、全国に数多く存在するケーソン護岸・岸壁の長寿命化とともに、発展途上国ならびに先進国を含め、今後、同様の問題を有する現場に幅広く適用・展開が期待できると考えております。